

第15期
事業報告書

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月 31日



／ みつけた！私にできること。 ／

一般社団法人
盲導犬総合支援センター

第15期事業（2023/4/1～2024/3/31）について

まずは、元日に発生した「令和6年能登半島地震」につきまして、被災された方々、ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

また、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり早2年、イスラエルを中心とした中東情勢など、今なお、世界の各地で戦禍や災害に見舞われ困難な状況にある方が多くいること、そして多くの命が失われる事態が続いていることに大変心が痛み、一日も早い事態の収束、平和の世の中を願って止みません。

コロナ禍での国内に於ける生活環境は大きな改善を見せ、5月からの「5類感染症」位置づけをきっかけに、マスク着用の意識緩和、秋以降では2020年以降中止されていたイベント等の再開など、経済活動の活発化がより明白となった1年でもありました。また、ChatGPTに代表される生成AIは自然言語理解との対話能力が顕著に向上し、多様な業界や日常生活での活用が進んだ一方で、プライバシー侵害のリスクなど、倫理的・社会的危険性の議論も取り沙汰されるようになりました。

エネルギー価格の高騰や円安、金利高の影響など、一般消費者をはじめとした負担増加の状況が続く中、私たちのような小売販売業にとっても、商品仕入れ値をはじめとする大幅なコスト増の問題は、大きな波となって押し掛かりました。

私たちの活動は「ビジネスとサポート」。こうした世の中の動きの本質を理解し、それぞれの事業で取れるリスク、取れないリスクを冷静に分析し、判断しながら戦略的に取り組むために、第二事業（盲導犬ユーザーや飼育ボランティア向けの支援事業）での個人向けドッグフード販売価格においては、「値上げをしない」というサポートを続けました。チャリティーグッズを通じてお買い物を楽しんでくれるお客様、継続して応援くださる法人企業の支え、これまで積み重ねた活動と顧客の想いは、一歩先の社会が必要とする価値の原資であり、その先を創造する歩みであると感じます。

年間のドッグフード販売数も6643袋（内育成団体への販売845袋）と過去最高出荷数を記録し、更なる信用とともに、変わらぬ安心と安全をお届けしています。

最後に、事業において大切にしている言葉「基本」について。この言葉は、初歩的なイメージも想起されますが、事業スローガンに掲げる「わたしにできること」を常に模索し、お客様をはじめとするステークホルダーの課題解決に真摯に向き合うこと。そして、購入した人、贈られた人にもどのような幸せ・喜び・安心感をもたらすか、常に複数の解決策・アイデアを持ちながら、迅速に且つ粘り強く行動する。現場に立つ一人ひとりのこうした「基本」の積み重ねが、盲導犬総合支援センターの太い幹であり、活動する心の基盤となっています。これからも皆様と一緒にあって、より具体的で親しみやすい社会貢献活動を推進して参ります。

今後とも変わらぬご愛顧賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。
それぞれの事業の詳細は、以下の通りとなります。

1. 店舗事業

(1) 神奈川、仙台、富士宮（計3店舗）で商品販売を行った。

(i) 全国の盲導犬ユーザー、飼育ボランティアへの飼育用品販売

(ii) 日本盲導犬協会へ犬具及びドッグフード販売

(iii) 共同訓練中ユーザーへの推薦される飼育用品紹介と販売

(iv) 施設見学者、来訪者に対してのチャリティーグッズ販売

(v) 施設外イベントでのチャリティーグッズ販売

A) 日本盲導犬協会との共同参加イベント

・コミックシティ東京12回、玉川高島屋盲導犬ふれあい広場1回、

ダイエー補助犬ふれあいコーナー12回、

そごう千葉・大宮盲導犬キャンペーン2回、

西武池袋本店・東戸塚店もっと知ってキャンペーン3回

B) その他社内販売、地域団体、取引先イベント

・ライオンズクラブ国際協会所属地域団体、国際福祉機器展、サイトワールド、

明治安田生命保険相互会社、NECチャリティーコンサートなど 全41回

(2) その他販売活動を行った。

(i) 富士ハーネス併設ドッグランの使用料販売（富士宮）

(ii) 盲導犬育成団体へのドッグフード及び犬具販売

・東日本、日本ライトハウス、関西、中部、北海道、九州、いばらき

(iii) 日本介助犬協会へのドッグフード販売

(iv) 日本盲導犬協会を経由した海外育成団体への犬具販売

(3) 日本盲導犬協会主催イベント補助

日本盲導犬協会が主催するイベントの運営協力及び商品協賛1回

・オンラインボランティア懇親会（神奈川）

・ビンゴ大会の参加チケットのネット販売、景品の協賛

(4) 支援、協力業務

日本盲導犬協会からの委託業務及び支援活動を行った。

令和5年11月30日を以て、募金箱業務委託（2010/01～2023/11）を終了した。

2010年1月からの総発送数：10,609件

(i) 募金箱発送業務（仙台）

・発送依頼の専用サイト受注処理、発送完了報告までの管理 581件

・返送募金箱の清掃、廃棄等処理作業及び返送報告

・募金箱に関するすべての在庫棚卸管理 12品種 87,028個

・その他特殊発送対応

(ii) ハーネス胴輪、ハンドルに関する販売他、管理業務

・胴輪、バーハンドルのメーカー企業との調整、使用後の修理サービス

三信商会、新日本カレンダー、東日本盲導犬サポーターの会、サニクリーン、MIKI-500、荻窪法人会、ヤマザキ動物専門学校、WANCOTT、榛原、マリアこまくさ保育園、瀬戸内海放送、IHG・ANA ホテルズ労働組合連合会
他全 83 社

(2) オリジナルグッズの受注製作

支援企業、法人に対し、より独自性を持たせた盲導犬普及活動として、コラボデザインによる営業販促品、ユニフォーム、カレンダーなどの立案。その他、企業の社会貢献活動提案からの、オリジナル商品におけるデザイン制作、商品受注、納品を行った。

MIKI-500、平和会ペットメモリアル、ナンセイ SHIPPING、サンギ、オンデーズ、オールフォーエスピー、ハイメン他全 29 社

(3) 盲導犬チャリティーボックスの普及活動

ペット用品売り場での、継続した盲導犬チャリティーグッズ販売コーナーの設置や、チャリティーグッズ販売代理店を広め、グッズ販売を通じた盲導犬普及活動に寄与した。

販売代理店：新規 3 店舗を含む全 208 店舗

ペット用品売り場販売コーナー：ジョイフル本田 18 店舗

(4) 「盲導犬サポート SHOP」カタログの スポンサー獲得

年 4 回定期発行、「盲導犬サポート SHOP」カタログの広告スポンサーを獲得した。カタログ及びパンフ媒体による企業 PR の場を提供し、スポンサー企業商品の販路拡大を図った。

ビクセン、平和会ペットメモリアル、アスク、三信商会、ネスレ日本、BSP、国泰ジャパン、ハイメン、ニックナック、紙工芸やまだ、ソーシン他全 26 社

(5) 盲導犬応援プロジェクトの スポンサー獲得

盲導犬応援プロジェクトの「声かけパンフ」を広めるため、企業スポンサーを募り、企業、法人を通じてのパンフの普及に寄与した。また、店舗、病院、盲導犬ユーザー、ボランティアを通じた設置配布、郵送書類への同梱先を開拓し「声かけパンフ」の広域な配布活動を行った。

スポンサー：泉屋東京店、サンギ、スタイル、マツブン刺繍、サニクリーン、ユーレックス、ライオンズクラブ、ダッドウェイペット他全 47 社

設置配布：ソニー生命保険株式会社、六点会、横浜鶴見北ロータリークラブ、ルートート他 全 6 カ所

(6) ライセンス契約商品を通じた盲導犬普及活動

ライセンス契約による盲導犬コラボ商品企画提案とその開発により、企業先販路での商品流通を通じた盲導犬普及活動に寄与するとともに、商品企画の実現をした。

サンギ、ハーモニック、国泰ジャパン、ベリー、BSP、三信商会、泉屋東京店、メーカーズシャツ鎌倉、TRYL、ヒライ企画、FMP、ソーシン他全 25 社

(7) 支援、協力業務

日本盲導犬協会への協力業務を行った。

- ・職員用ユニフォーム製作

(8) 企画・運営

(i) 主催イベント

新型コロナウイルスの感染拡大以降状況様子見の為、当年度は行っていない。

(ii) 年賀状、カレンダー

協力企業運営のもと、年賀状カレンダーを通じた盲導犬の普及活動を行った。

- ・2024年盲導犬チャリティー年賀状 発行枚数 60,160枚
- ・2024年補助犬応援団カレンダー 発行部数 2,500部
- ・2024年うちの子チャリティー年賀状 発行枚数 1,930枚

(iii) 催事出店

新型コロナウイルスの感染拡大以降状況様子見の為、当年度は行っていない。

(iv) 募金活動

新型コロナウイルスの感染拡大以降状況様子見の為、当年度は行っていない。

3. 通販事業

(1) WEB 通信販売

- ・「盲導犬サポート SHOP」 <https://www.gomoudouken.net>

会員数：47,575人（昨期比1,155名増）

チャリティーグッズの販売、盲導犬・被災犬応援プロジェクトを展開した。

- ・「盲導犬生活サポート SHOP」 <https://www.gogomoudouken.net>

会員数：3,372人（昨期比227名増）

全国の補助犬ユーザー、飼育ボランティア情報の管理・飼育用品及びドッグフードの販売を行った。また、補助犬ユーザーへ向け、犬用品の情報収集・提供並びに企業協力による特価セールや犬服無償提供を実施した。

(2) 季刊カタログの発行

(i) 4月：盲導犬サポート SHOP Vol.69 24p

- ・盲導犬チャリティーグッズ140アイテム大集合！

できるだけ多くのグッズを掲載することで、定番品も思い出していただくことを目的に、通常より多いページ数で作成。

(ii) 7月：盲導犬サポート SHOP Vol.70 20p

- ・チャリティーグッズとして人気の高いTシャツ新作8デザインを掲載

盲導犬ユーザーと盲導犬の幸せな日々が感じられるデザインを目指し、多くの方に購入いただくことができた。

- ・みんなに使いやすいユニバーサルデザイン扇子 hirari 販売。

(iii) 10月：盲導犬サポート SHOP Vol.71 20p

- ・昨年好評だった補助犬応援団カレンダーに登録された犬猫の写真で表紙を構成
壁掛けカレンダー枠を購入し、そこに犬猫の写真を掲載し、補助犬を応援するカ
レンダーを作り上げる企画。かわいい犬猫で華やかな表紙となった。
- ・泉屋東京店とのコラボクッキー缶に新柄登場
テーマは「毎日 HAPPY」。ペットの犬たちと同様、おうちの中で楽しく過ごす盲導
犬の様子をキュートに表現。
- ・盲導犬サポート SHOP ファンクラブ会員と商品開発を行う「あなたと作るチャーリ
ティーグッズ」の新作「じゃれパピー」（ぬいぐるみ）を販売。

(iv) 1月：盲導犬サポート SHOP Vol.72 20p

- ・盲導犬サポート SHOP ファンクラブ第八期募集
前年 1100 名超の申込みとなったファンクラブを継続して募集。2 種類から選べる
ピンバッジ、2 色から選べる T シャツは継続、新たにバッグも追加で選べるコース
を新設。過去最高人数の申込みとなった。

(3) 盲導犬チャリティー年賀状

16 年続く人気企画。毎年前年の評判を元にデザインや周知方法、配送方法の追加
による利便性を改善し、6 万部を超える発行枚数となった。

(4) 応援プロジェクト

(i) 盲導犬応援プロジェクト

盲導犬ユーザーと盲導犬が、より安心安全に歩ける社会を目指す。

- ・「声かけパンフ」総配布数：1,187,900 部（昨期比 151,000 部増）

盲導犬ユーザーへのお手伝いの方法が分かる A6 サイズの冊子を、広く配布し声か
けを広める。社会福祉協議会のパンフ設置協力が大きな牽引力となった。

■主な協力・配布企業、団体等（順不同・法人格略）

- ・声かけパンフ

横浜鶴見北ロータリークラブ、ビクセン、千葉幕張メッセライオンズクラブ、
ハッシュ、BSP、泉屋東京店、桜井ホンダ、柏ライオンズクラブ、フォレストモモ、
国泰ジャパン、サンギ、全東急ストア労働組合、東京都トラック協会足立支部、ペ
ット防災サポート協会、荻窪法人会、楽しく～ん、ルートート、ビジュアル東京、み
なみ企画、紙工芸やまだ、ナチハマ、ベストエバージャパン、
マツブン、OFFICE ELLA、シンキ、スタイル、ダッドウェイペット、フジスター
山下商事、ユーレックス、エクセルシア、ハーネスクラブ、アスク、奥本いろは堂、
吉徳、東洋化学商会、アドバンス、共進建設、スイートルーム、盲導犬を普及させ
る会、ニックナック、ピーアンドディーヒロサワ、湘中央生命科学技術専門学校

- ・エルくん熊手ステッカー

盲導犬ユーザーが気持ちよく過ごせたお店に、ユーザー自身が配布するステッ

カーが全国の様々なお店へ配布された。累計 1, 350 枚（昨期比 50 枚増）

(ii) 被災犬応援プロジェクト

福島県の被災犬保護シェルター「SORA アニマルシェルター」と連携を取り、必要な支援を行った。

- ・シェルター全頭分のノミ・ダニ・フィラリア駆除薬：累計 975 個
- ・ドッグフード 661 kg
- ・医療費補助 562, 918 円
- ・能登半島地震被災動物ケアを行う石川県獣医師会へ現金寄付 30 万円
- ・里親募集ページに飛べる QR コード入りアクリルキーホルダーを作成し、里親募集を周知
- ・車中避難や自宅に取り残された犬猫の存在を知らせるステッカーを作成し配布

(iii) 優しい未来を届けよう！BIG エルくんプロジェクト

子供達にエルくんのぬいぐるみを届け、小さい頃から盲導犬に親しんでもらうことで、盲導犬ユーザーと盲導犬に優しい社会を目指す。

- ・保育園：1 か所 1 個
- ・通販コンテンツ一部リニューアル。購入者の手から直接家族や知人のお子さんに届けるコースも設定

(4) 広報活動

(i) 電子メディアの運営

A) WEB ページ

- ・公式サイト <https://goguidedogs.jp>
会社概要、採用情報、各プロジェクトや犬と暮らす方へ向けたコラムを掲載
- ・通販サイト
チャリティーグッズの販売 <https://www.gomoudouken.net>
ドッグフード・飼育用品の販売 <https://www.gogomoudouken.net>

B) メールマガジン 19, 631 名（昨期比 107 名減）

オススメ商品及び犬と暮らす方へ向けた情報、プロジェクト報告の定期配信

C) SNS

- ・Twitter：盲導犬総合支援センター 8, 164 フォロワー
<https://twitter.com/goguidedogs>
- ・Twitter：もうどう犬エルくん 8, 864 フォロワー
<https://twitter.com/moudoukenLkun>
- ・Instagram：盲導犬サポート SHOP 8, 840 フォロワー
https://instagram.com/goguidedogs_design
- ・Facebook：盲導犬応援団 Go!Guide Dogs
2023 年 8 月にアカウント乗っ取り被害発生。フォロワーへのセキュリティーを最優先とした対応を行った。9 月下旬、アカウント閉鎖。

D) SNSでの発信強化

- WEB 限定販売商品「心つなぐマグカップ」
毎年好評のマグカップの新色「ショコラ」を2週間限定で予約販売を実施。
今年でこのデザインでの販売は終了、350個以上の予約となった。
- Twitter「盲導犬や視覚障害の情報発信」
盲導犬育成団体や、視覚障害者本人の発信をフォローし、社会全体でのサポートにつながる有益な情報配信を強化した。

(ii) LINE スタンプ

株式会社ジョイフル本田とのコラボスタンプ販売を行った。

累計ダウンロード数 458回

(iii) メディア掲載

期間	媒体	内容
2023. 6. 21	朝日新聞 地域総合	心つなぐマグカップ
2023. 11. 30	ほぼ日刊イトイ新聞 「マリーな部屋」	泉屋クッキーコラボ缶 ずっとかわらない美味しさのクッキー、盲導犬たちとともに。
2024. 3. 15	RETRIEVER information コーナー	盲導犬応援トイレトペーパー
2024. 3. 18	JapanNewsLounge	盲導犬支援に役立つ『ワンニャングッズ』新発売！
2024. 3. 22	イエモネ	盲導犬を応援できるワンニャングッズって知ってる？ トートバッグやお守りがかわいい

II. 管理・運営・寄付・他会計

1. 理事・顧問・監事・従業員状況（令和6年3月31日時点）

理事 4名、監事 1名、社員 3名、パート 8名
育児休暇：社員 1名

2. 理事会及び社員総会の開催状況

(i) 理事会及び Operation MTG

開催日：毎月第4週1回

議事：月次決算報告、日常業務の執行及び重要業務の協議決定

(ii) ステアリング committee

開催日：2カ月毎第4週1回

議事：体制、課題と成長戦略

(iii) 社員総会

開催日：令和5年5月25日

第1号議事：事業報告、決算の承認及び監査報告

1 貸借対照表

2 損益計算書（正味財産増減計算書）

3 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類

第2号議事：理事改選に関する件

3. 寄付金

日本盲導犬協会：2,000,000円（累計額：17,477,737円）

石川県獣医師会：300,000円

4. 他会計（非営利事業）

当年度も実際の活動自粛を継続したが、令和6年能登半島地震に於ける被災された盲導犬ユーザーへ生活に必要な物資の支援支出を行った。

■ 収入：56,379円

A) 個人寄付：1件 10,039円

B) 法人寄付：2件 46,340円

C) その他：0件 0円

■ 支出：355,162円

A) 活動費：55,000円

B) 管理費：162円

C) その他：300,000円

■ 収支計 ▲298,783円

詳細に関しては、附属明細書に収支表を記載する。

Ⅲ. 附属明細書

1. 他会計収支計算書（非営利事業）

前年度繰越金額： 418,435 円

収入の部

科目	区分	適応	金額
寄付	個人 (個人名省略)	1月29日	10,039
	法人	モンベル (株ベルカディア)	44,340
		点訳サークル六点会	2,000
その他	入金		0
	振替	一般会計からの借入金	0
当期収入合計			56,379

支出の部

科目	区分	適応	金額
管理費	事務費	振込手数料等	162
	旅費交通費		0
	会議費		0
活動費	特定寄付	能登半島地震動物対策本部	300,000
	プロジェクト		
	盲導犬ユーザー	地震被災者への支援物資	55,000
その他	返金		0
	一般会計振替		
当期支出合計			355,162

次年度繰越金額： 119,652 円

一般社団法人 盲導犬総合支援センター